

一問一答プリント 日清戦争・日露戦争と近代産業2

- ① ロシアが韓国における日本の優越権や南樺太を日本にゆずりわたすことなどを認めた、日露戦争の講和条約。
- ② 1910年に日本が武力を背景に併合し、植民地化した国。
- ③ ②の併合後、植民地支配を押し進めるために、日本が設置した機関。
- ④ 1911年に清で起こった辛亥革命を指導した人物。
- ⑤ ④が唱えた、「民族、民権、民生」の3つからなる革命の指導理念。
- ⑥ ④が臨時大総統となって1912年に建国された、南京を首都とする国。
- ⑦ 日清戦争で得た賠償金を基に北九州に建設され、後の重化学工業発展の基礎となった官営の製鉄所。
- ⑧ 三井、三菱、住友など、日本経済を支配するようになった大資本家。
- ⑨ 足尾銅山鉱毒事件に生涯を通じて取り組んだ地元の衆議院議員。
- ⑩ フランスに留学して印象派の明るい画風を紹介した、「湖畔」などの作品で知られる画家。
- ⑪ 「舞姫」などの小説を著した文学者。
- ① 黄熱病の研究などで世界的に知られる細菌学者。

解答らん

① ポーツマス条約	② 韓国（挑戦）	③ 朝鮮総督府
④ 孫文	⑤ 三民主義	⑥ 中華民国
⑦ 八幡製作所	⑧ 財閥	⑨ 田中正造
⑩ 黒田清輝	⑪ 森鷗外	⑫ 野口英世